

知ってますか？ ED 診療の最前線

企画にあたって

ED に対する治療薬として非常に有効である PDE5 阻害薬の承認後 20 数年を経過し、医療をとりまく環境は一変している。ED 診療ガイドラインについては 2008 年に第 1 版が発刊後、最新版として第 3 版が 2018 年に発刊されて現在 ED 診療の手引きとして用いられているが、発刊後はや 6 年が経過し、ED にかかわる事象も変化をしてきている。

この 20 数年、PDE5 阻害薬がゴールドスタンダードであることには変化がなく、残念ながら効果や利便性の面で、PDE5 阻害薬を凌駕するものは世に出てきていない。それだけ ED 診療において PDE5 阻害薬が優れた薬剤であることでもあるが、それゆえに、まずは PDE5 阻害薬による治療を行うことが一般的になり、裏に隠された病態を探るための検査がおろそかになったり、PDE5 阻害薬が効かない場合にとたんに何もできなくなってしまうといったことが一般日常診療ではよくある場面になってきていると思われる。

そのような現状でもしっかりと ED 診療に向き合うために、本特集ではあらためて一般医家が知っておくべき現状に即した ED の病態、検査をまとめ、検査については特に労災認定に必要な検査である夜間勃起現象についての実際を専門家にまとめていただいた。

治療については PDE5 阻害薬について一部保険適用になった点などの変更点を含めてあらためて解説を行うとともに、PDE5 阻害薬以外の治療法については、ガイドライン第 3 版発刊後に現在アクセス可能な治療が一変してきている現状に即してそれぞれの治療法について専門家に解説をいただいた。またインプラントや血行再建などエキスパートによる治療が必要な治療についても、専門家に解説いただき、ED 診療にあたる一般医家としても知識を整理できる内容となっている。

本特集が ED に対する日々の診療に少しでもお役に立てれば幸いである。

地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院
泌尿器科

福原 慎一郎